

今年も、宮城の方々へ

春を告げる 「桜の花」 を送りたいと思います。

七回忌を区切りに、最後のオーナメント活動です。

NHKの番組で福島の被災者の番組を見ました。あれから6年が経ち、段々と被災地を訪れる人も減り、孤独感が募っている。仮設住宅に引きこもり、人との交流を拒否している人。清掃のボランティアを通して、何とか繋がりを保っている人。そして、自ら命を立つ人が増えていること。そこには、孤立してしまった人たちの言いようの無い孤独が滲んでいました。

私に出来ること・・・せめて、出来ることを続けていかなければならない。と思いました。このオーナメントを作りながら、今も頑張っている人たちへ想いを馳せるきっかけになればと思っています。

七回忌を区切りに、「オーナメント」の活動は今年が最終回になります。皆さまのご協力をお待ちしています。

株式会社アベニュー 代表取締役 阿部 幸央

このイベントを主催します、多賀城市のGallery・Shinの米澤絵美さんから、今年も手紙が来ました。ぜひお読み下さい。

(前略)

いろいろと考えて開催してきた蝶と桜のオーナメントイベント。

震災から6年目、遺族にとっては七回忌の3月。

あの3月に生まれた子たちが小学生になる、この春。

毎回オーナメント飾りを贈っている南三陸さんさん商店街も、この春、本商店がオープンします。

「桜」は、日本人にとって「始まり」を意識させる花。

「蝶」は、キリスト教などでは「復活」を意味していたり、「死者の魂を運ぶ」ものとされている文化圏もあるそう。

いろいろな想いを交錯させながら、新しい1年へ向けて、今年のオーナメントを一緒に作れましたら幸いです。

あなたが作る1つの蝶や桜が、東北にとって「遠くから気持ちを届けてくれる人がまだいる」大きな温かなものを受け取る瞬間になると信じて。

そして何よりも、このイベントにご賛同いただくあなたご自身と大切な方々が、どんな時にも強く行き抜いていけますよう、心よりお祈り申し上げます。

Gallery・Shin 米澤絵美

